



しみず学びのエリア

ふじみだい

学校だより 12月号

令和4年11月30日

板橋区立富士見台小学校

<https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1310261>



万々に備えて ～地域と連携した防災訓練～

校長 関根 弘

いつ襲ってくるかわからない巨大地震。南関東ではこれまで200～400年間隔でM8(マグニチュード8)クラスの巨大地震が発生し、その地震の前にはM7クラスの地震が複数起きてきました。こうしたM7クラスの地震が関東南部で発生する確率は今後30年間で70%と予想されているそうです。

大きな災害が起きたとき、本校は、避難所となります。そのための訓練が毎年行われています。

各訓練によってメンバーは異なりますが、前野町1丁目町会・前野第2住宅自治会 他 本校保護者を含む地域の方々、志村消防署・志村消防団第4分団・板橋区の地域防災支援課、そして本校からは校長と副校長が参加して訓練や協議を行っています。

その中から、今年度、本校で行われた訓練についてご紹介いたします。

○避難所運営訓練(9月25日(日) 会場：富士見台小学校体育館)

この日は、災害が起き、避難所を開設することになったことを想定した「避難所の運営訓練」を行いました。ここでは、グループごとに運営方法を学ぶカードゲームを通じた研修を行いました。1枚のカードには、年齢・性別・家族構成や怪我・病気など、避難者の情報が書かれています。そのカード数十枚を1枚1枚確認し、グループで協議しながら体育館や教室への振り分け方を考える、といった極めて具体的で実践的な研修でした。



○地域防災訓練(10月30日(日) 会場：富士見台小学校校庭)

この訓練は、各町会等に回覧板やポスターで事前に通知し、町会の方なら誰でも参加できるというものでした。本校の児童・保護者の方も参加していました。ここでは、参加者を4つのグループに分け、グループごとに以下の訓練と体験を行いました。

- ◇消火器を使った消火訓練
- ◇ミニポンプ操作訓練
- ◇心肺蘇生法訓練
- ◇道路の消火栓を利用したスタンドパイプ消火器操作訓練
- ◇起震車体験



今年度参加されなかった方、来年度は親子で参加されることをお勧めします。

○学校防災連絡会(11月15日(火) 会場：富士見台小学校校内)

この連絡会は、実際に災害が起きて避難所を開設する流れを確認する会です。誰がどの様に鍵を開けるのか、避難者の対応をどの様にするのか、体育館や各教室をどの様に使用するのか、行政との連絡をどうするのか、備蓄倉庫に何がどの様に入っているのか、等について協議しそれぞれの現場の確認を行いました。

このように、万々に備えて、学校と地域と行政が一体となって訓練を行っています。

今回お伝えしたことにつきましては、12月の全校朝会で子供たちにも話す予定です。各ご家庭でも災害が起きたときにどの様な行動をとるのか親子で確認しておくようお願いいたします。